

【大投資家の竹田和平氏から学ぶ 「貯徳(ちよとく)」の精神について！！】

さてさて、前号で

【アメリカの不正選挙騒動の裏に見える投機家・ジョージソロスの影】

っていう号を流しました。

そこで「投資家」と「投機家」の違いってのを

ちょっと書きました。

私なんかはやっぱ投機家よりも

投資家でありたいな、なんて思っていて

それで上海にいるのも色々成長中の人々に価値を与えていて

元気ある会社、そういうのをいろいろチェックしたいな～

ってのがあったんですね。

この数日間で色々中国の人々の需要とか、これから

まだまだ成長するだろうな、という会社など分かったので

今後の投資に活かしていきたいな～と思っています。

あと海外にいて思うのは「語学を本気で勉強しよう」

って思えるところが良いですね。

日本にいて中国語学ぼうと思っても学ぶ動機が出てこないのですが

中国だと英語通じないことが多いので中国語学ばないと・・・

って思うので、そういう意味で自分に学ぶ環境を作れるってのが
とてもよいところです。

さて、それで今日は「投資家」とは何かという部分を
考えて生きたいと思います。

私なんかが尊敬できる投資家と考えているのが
それこそローレンバフェットは有名ですがあとは
ジムロジャースなんかも昔本をすごい読みました。

それで実は彼らのような欧米の人たちだけじゃなくて
日本にもすごい投資家さんっているんですね。

投機家じゃなくて、投資家。

この投資家さんの名前が竹田和平さんっておじいちゃん
たぶんあなたもご存知かもしれませんが

彼もまた経営者で自営業者なんだけど

同時に投資家として、資産は確か100億円だとか200億円
だとか言われています。

それで私が重視してるのが「誰かのバックグラウンドで
資金提供を受けていないか」という部分なのですが

多くの金持ちって実際バックにもっと金持ちがいたりするのが
世の常なんだけど

彼の場合はほんと「自分の力だけで」資産を築いたすごい人なんです。

んで、この竹田和乎さんですが、株で数百億円作った人なんです
彼がよく言うのが

「徳を貯金する体質にしろ」

ってことなんですね。

彼は「貯徳」というのですが

竹田和乎さんは戦後食べるものに飢えてお金にも飢えた時代を
経験しているんですが、そこで人にも好かれる素直な体質

それがお金に好かれる体質なんだ、って気づいたそうです。

だからいわゆる「徳」ですよ。

これがお金に好かれる体質なんだと。

だから徳を貯蓄しろ、というのが彼の言ってることで
私は彼の資産というよりはこの言葉に結構共感を得て

「日本にもすごい人いるよな～」ということで
尊敬しているわけです。

それで全ての分野において

(変革期があつて)導入期

、成長期

成熟期

衰退・変革

があるわけですが今の日本に関してはおそらく

衰退および変革、の時代でしょう。

現在の先進国不況ってのは結構すごいものがあるわけですが

それは私は今上海でこのメルマガ書いてるけど

外から見て、それを感じるわけです。

上海の街とか前に写真見せましたがすごいんです、ほんと。

一方先進国なんかはもう東京ですら最近少し

ライトが照らされていなくて暗くなってきていますよね。

それでこの不況を招いた大きな原因が前に書いた

金融資本主義ってのがあると思うわけです。

私もFXとかやってるから人のこと言えないんだけど

ただやっぱり金融一辺倒の資本主義ってのがこの大きな不況を

生むことになったってのは誰も疑わないところだと

思います。

ちなみに前の号に書いたのだけどころこういう金融資本主義とか

あとはそれに結びついて中東なんかで戦争して

軍産系列が儲ける資本主義のことを「前期資本主義」っていうんですね。

この前期資本主義、実は資本主義とは全く違うものでして

似てるけど全然違うものなんです。

多くの人々がそこに最近気づきだしていて

なんか金融資本主義はおかしいってのは分かってきているわけですが

ここでやはり人類に価値観の変革ってのが起こるのだ

ってのが日本の大投資家である、竹田さんの言葉です。

人々は過剰な金融資本主義からいずれ脱却して、

そして「徳」が金を生む、という新しい時代に入って行くのだ

というのがこの竹田さんの言葉なんですね。

この竹田さんは200億円前後稼いだ投資家であるだけではなくて

竹田製菓っていうお店の社長さんでもあるのですが

彼はやはり「徳」を意識して、業績もすごい改善してきたんだそうです。

この「徳」ってのはなんか抽象的だけど

それはやはり今のアジアの中国とか韓国なんかには実は結構

残ってるんです。

私なんかは英語では合理主義は学べるけど「徳」ってのは

学べないので、だからこそ最近韓国語もそうだけど

中国語も学ばないとなってる思ったりします。

ちなみに竹田氏が説く徳ってのは感謝の心だ、ということです。

彼はお菓子屋さんをやっているわけですから

毎回 ありがとう、ありがとう、という気持ちで食べ物を

作るんだそうです。

逆に「ばかやろー」とか思って作る食べ物なんて

おいしくない、ってことでして

やはり「徳」を「貯蓄」する「貯徳」って考え方は大事だと。

それでやはりお金ってペラペラの紙なわけでした

最近では単なる数字です。

それを竹田氏は皮肉っていて、

「多くの方は金融だけで富が生まれるって勘違いしてるけど

現実にはあんなもの何も世の中に価値を生んでない。

バーチャルゲームのような世界で富が生まれてると

みんな勘違いしてるだけ。

お金は道具、手段であって、目的じゃないよな」

こういうことを言っているわけです。

私もお金はあくまで手段、ツールだ、ということをよく書くのですが

この考え方って大事だと思うんですね。

それで私がこの竹田さんの立派なところだと思うのですが

以前に定額給付金ってのがありましたが

この竹田さん、その紙をビリッと破り捨てたと。

家族の前で。

それで

「国家に頼るのはおかしい。民衆でやれることは民衆でやるべきである。

国家がなんかやってくれるとって おいしそうだと、思っていけば

必ず何か畏があるもんだ。

だからあんな定額給付金なんぞいらん。景気にはオレはもっと貢献してるでな。

真心あるものを民衆に与えないと」

っていうのが彼の主張なのですが

まさに流れている思想は以前に書いた

リバータリアンなんですね。

それでこの竹田氏ですが資産数百億円の金持ちであるわけですが

彼はあくまで お金は幻のようなもんだ、というわけです。

お金だけで実現できないこともあるで、

と彼は言います。

ホリエモンって人がお金でなんでも出来てしまうと言ったけど

やはりそれは数十年で資産の差になっているよな

というのを私は感じるわけですね。

ちなみに私なんかは学生時代ライブドアで働いていたことが

あったんですね、結構ハードに。

それで世間の人ってライブドアはホリエモンが作った

って思ってるけどホリエモンのオンザエッジって会社があって

それがライブドア買収したわけですね。

当時ライブドアってのは無料インターネット接続ですごい

人気あったんだけど

それはホリエモンが作ったわけじゃなかったというのも

これまた事実としてありますが世間では知られていないと思います。

私はまさに買収前、買収後、またがってそこで働いていたので

そういうのも知っております。

だからいわゆる M&A っていうやつなんですけど

こういう金融資本主義で富裕層が誕生する流れが先進国であるわけですが

こういう流れから「徳」が重視される流れに変わってくる

っていうのが竹田さんの言うところで、私は本当にそうだと

思うんですね。

それで竹田さんの場合はいろいろな会社の大株主であるわけですが

そこで社会に価値を生める会社に株を買って資金を提供して

そして時にはそこで「徳のある経営」を教えたりして

それで業績アップさせて、そして配当金を受け取るってことを

しているわけですね。

前に紹介した裏技の神崎さんと年齢はかなり違うけど、

一緒ですね。

私もだからこの竹田さんにはちょっと影響を受けていて

また神崎さんなんかにも影響を受けていて

そういう方向にシフトしないといけないなって思ってるわけです。

一応 FX とか株の空売りとか、それってジョージソロスを私は

批判するけど、私もやってることは一緒に

ポンド空売りで儲かってやった〜とか上海にいなながらも

やってるけど

それって色々学んでると分かるんですけど

投機、に過ぎないわけです。

お金って数字は勉強して上手になってきて当然増えるけど、

それでじゃあ社会に

何か投機、で儲かった分が価値として還元されてるか？

というとうなんだろう?? っていうのが

私が最近感じてるところなんですね。

だから実は FX もオプションもバイナリーもそうだけど

あれらって投機なんですね、投資じゃなくて。

あくまで最初のお金稼ぎの入り口としてやりやすい、

ってのはあるけど、

これもある程度の資産になってきたら

投機家⇒投資家へちゃんとシフトしていくのが

大事だろうって私は最近色々な富裕層の方の影響を受けて
思うわけです。

それで、竹田和平氏のように

価値を生産できる企業にちゃんと投資して、もちろん自分も
商売とか頑張るけど、その上で投資して、

そして価値を社会に作って配当金をもらっていって考え方が
投資家の王道の考え方としてありまして

それが竹田さんのやってることであるわけですが

「じゃあこれを衰退期の日本で出来るのだろうか??」

という問題もあるわけです。

資本主義がまず日本では成立していないわけです。

公的部門が私的企業を実質管理しておりますよね。

これは社会主義です。

そういうところで資本主義が育つだろうか?って部分があって

そう考えるとどうしても経済成長率5%前後の

成長国で活動をしてアジア全体で価値を作る

っていう話になるわけでした

だから視察で上海にいたりする、ってのもあります。

最近是中国で

「どういう部分でどういう価値が発生してるだろう？」

なぜこの国はここまで発展したのだろうか？」

ってのを結構観察しております

それで投資企業なんかも決めていくって考えています。

もちろん日本の経済も、

日本の本当にポピュリズムを体現できる

故田中角栄のような、トランプのような、

ドゥテルテのような政治家が現れて

官僚機構をつぶすことができれば、

政治が正常化すれば、

政治が安定することによって

正常に能力ある、価値を生産できる

徳のある若い企業が台頭してくるでしょうから

私はそういうときにそういう企業に

竹田さんみたくがつつり投資できる投資家になりたいな～

ってのを最近目標に据えています。

それでこの「徳」を貯蓄するのが大事だ

って竹中さんの言葉、すごい大事な言葉だと思っていて

本当に私の周り見ると、仮に投機であったとしても

また新しいインターネットビジネスであっても

世間では色々言われていてもなんだかんだ「徳」がある人が

残ってるように思えるわけですよ。

私も友人として接している起業家とか投資家の人とかいるけど
みんな徳があって、私時々自分が恥ずかしくなることもあります。

「この人たちはすごい。それに比べて俺はもっと
がんばらないといけない」
と。常に自分に駄目出しです。

この「徳」の一つとして考えられるのが素直さって
ところなんですが

自分の足りないところって絶対にあるわけで
その人が完璧なんてことはないわけです。

人間は基本的に不完全。

となると多くの人の「知識に敬意」を持つ必要があって
それぞれの起業家や投資家の人生を通じて
それぞれの知恵とかやり方、ってのがああるわけですね。

これを「オレはそう思わないから 話聞かない」
ってのはおそらく素直さが足りない人で
自分の固定概念を守りたがりの本当はビビリマンの人で、
徳がない、という人なんだろうと思います。

色々な意見があるのだから、まあそれぞれの人に
よいところもわるいところも

あるけど

それぞれの個性はあるのだから
よいところは取り入れていきましょう、

みたいなそういう考え方ですね、
これが徳の一つなんだろうと
思います。

そこで「こうあるべきだ」「そうするべきだ」論はないわけでした
考え方に柔軟性があるわけですが
おそらくそれが徳の一つです。

それは起業家、投資家が「素直さが大事」
というのと一致しております。

例えばなんですけど、中国とかだとみんな
「列に並ぶ」ってことをしないわけです。

これに不満を言う日本人旅行者は結構いるのだけど
彼らの主張は

「日本人が列に並ぶのが当たり前なんだから
中国人も列に並ぶべきだ、そうあるべきだ」
ってもので

気持ち悪いくらいに「べき」が多いんだけど

けど歴史を学ぶと中国の方々ってのはつい数十年前は

道端で餓死している人が平気であるような時代を経験している
わけです。

そこで「列に並ぶ」ってことは食にありつけないわけで
家族の死を意味したんだと思いますが

また人口も多くてそこでなんとか食を得るという必要性が
あったのだらうと思うのですよね。

そういう歴史があった人たちに 比較的富裕層の国の人
が「列に並ばないでけしからん」っていうのは気持ちとしては
分かるけど

それってあくまでその人の立場から見た視点だけなわけ
でしてそこに色々な人の個性を理解して許容するような
「徳」は存在していないのだと思います。

ちなみに最近上海で驚いたのが中国の人が列に並ぶよう
なってるのですよ(笑)

上海なんて街並みやインフラは今いるけど
東京以上になってしまってるんだけど

だから振る舞いもこの数年でかなり変わってきたと
思います。

勝手に「べきべき」といわないでも
それぞれ修正すべき点は分かっているから、

変わっていくものだろう、とも思います。

だからそれぞれの価値や個性を許容するという部分、
これらもおそらく「徳」であって

そういうのがあると色々なチャンスにその人は恵まれて
お金が勝手についてくる、ってのが

私が強烈に感じるところです。

だから徳が大事である、っていうこの竹田さんという
日本のマールバフェットといわれる人の考え方は
とても深いんですね。

とりあえず言えるのは たかが1民間人である
ベッキーだとかその辺の芸能人に寄ってたかって
集,団リンチ状態で攻撃する人たちには
徳は存在しないですよ。

電車でベビーカーのお子さんと一緒に移動している
頑張ってるママさんにいらつく感情体系を
持つことを自己肯定する人もそうだろうし

弱者に横柄、強者にぺこぺこという
姿勢についても徳というのは存在しないと思いますし、
また民衆が重税で苦しんでるにも関わらず

どんどん新税を設立して日本の民衆から収奪して

そしてなんら社会に価値創造せずに

自分たちの民衆の2倍以上の給与を

自己保身で維持しようとしている

官僚機構やその下の公務員組織にも徳は存在していませんよね。

明治維新以降だと思いますが、

日本が急速に合理主義を注入されて近代化して(させられて)

そして経済の部分は強くなったのは事実としてありますが

そこで民族全体が失ったのがおそらくどうもこの

竹田氏のいう「徳」の部分だと私なんかは竹田氏の言葉を聞いて

考えていたのですね。

この徳を作り上げるのが非常に「お金儲け」には

重要であって

それが最終的には長期で富を増やす。

これがおそらく大投資家である

竹田さんのおっしゃる真意なんですね。

お金は大事でして、お金がすべてじゃないとかいう

キレイゴトは私は言わないのですが

が、一方で、人生にとって大事なことは結構他にも

沢山あります、ということです。

昨日、上海のマクドナルドの店員さんの素晴らしい接客を受けたんだ
って書いたけど

あれなんかは昔のマスターカードの宣伝じゃないけど
まさにプライスレスなんです。

あの接客受けただけで「よーしがんばるぞ」
と思えますから、プライスレスな価値なんです。
お金の数字だけだとどうも表せない価値があります。

だから大投資家竹田さんのおっしゃる
「貯徳」の考え方はこれからの時代必須になってくるだろう
と思いますね。

ちなみにこれはアジア圏内で言われていることではなくて
私のオランダ人の友人で今北京大学に行ってるのが
言ってたのが

「おい、ゆう、これからはIQとか知能指数の時代じゃないぞ。
これからはEQ 心の知能指数みたいな部分が大事になる。」

ということでした。

EQという英語ではあるけどそれは日本語の「徳」に
おそらく近いものだと思いますが

それに気づきだしている人が全世界的に増えているってことですね。

だから私たちは金融資本主義に生きるから

「金儲け」ってことでやってるんだけど

が、同時に未来ではこの「徳」が物言う時代になってくるから

「徳」も磨いていく必要があるんだろう

ってことです。

しばらくは金融資本主義が先進国で猛威を振るうだろうけど

おそらくその変化はそこまで遠くない時代に起こって

徳を持った企業や個人が活躍する時代に竹田氏が

おっしゃるように入っていくと思われまますので

そういう部分でも「徳とはなにか」みたいなことを

考えることも大事なんだろうって思いました。

だから私はそういう部分もこれから勉強しないといけないな

って日本の大投資家竹田和平の言論を見て思いました。

それで投資の何が面白いのか？っていうと

もう人生全般のこういう深い部分まで磨いてそれが

配当金なりのお金になって人生の豊かさにつながっていった

満足度が高まっていったってところだと思いますよね。

世の中厳しいですから、キレイゴトだけではいけないことが
多いのだけど

それでも投資を勉強していると自分との戦いってのが
常にあるし

人生が磨かれることが多いですよ。

いや～色々最近考えさせられます。

まあ私も立派なこと言ってるようですが、
このメルマガなんてパンツ一丁で書いていますからね、
徳とかいう前の問題でしょ、って自分でも思うのですが

が、やっぱり世の中はとにかく自立してどう生きるか考えた人が
満足して生きられるように
なっていますね。

お互いこれからもさらに成長してきましょう！

それではまた！

ゆう